# 図書館だより

### 令和6年12月2日発行 **12月号**

郡山第五中学校 図書委員会





1-3 1-4 2-1 学校司書 渡邉 恵美

カレンダーも残り1枚。現在、私たちが使っている暦は、地球が太陽の周りを1周する時間を1年の長さとした太陽暦です。暦には、ほかに太陰暦と太陰太陽暦などがあります。どんなしくみなのか調べてみるとおもしろいですね。 現在図書館だよりで紹介している「先生のおすすめの本」コーナーを作成しました。ぜひこの機会に読んでみて、先生と本の感想など話してみるのはいかがでしょうか。貸出冊数は1人2冊まで、貸出期間は1週間です。

#### 図書委員おすすめの本



1-3 「君が落とした青空」 作 櫻いいよ



この本は、みんなが普段使っているけど名前を知らない物がたくさんのっている本です。この本の特徴は、クイズ形式で書いてあるので本を読むのが苦手なひとでも簡単に読む事ができます。例えば、都道府県の名前や行事の名前などです。なので、福島県の名前の由来も書いてあります。気になった人は図書室にあるので見てみてください。

**2-1** かがみの孤城 作 辻村 深月



この小説は、事故で恋人(彼氏)をなくした 主人公が事故の朝に戻って彼氏を助ける方法 を探しながら何度もその日々を繰り返すタイ ムリープラブストーリーです。

このお話は最初と最後の主人公の彼氏への 想いの変化があり、とても読み応えのあるお 話になっていて面白いです。

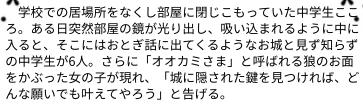
果たしてなぜその日を繰り返すのか、この繰り返す今日の中で主人公がどう変わるのか図書室にあるのでぜひ読んでみてください。



1-4

モノのなまえ事典作 杉村 喜光





戸惑いつつも鍵を探しながら共に過ごすうち、7人には一つ の共通点があることがわかる。

そしてお城が7人にとって特別な居場所に変わり始めた頃、 ある出来事が彼らを襲う―――

果たして鍵は見つかるのか?なぜこの7人が集められたのか?

よことできんあって面白いのでぜひ読んでみてください





#### 先生のおすすめの本

### 小野田 耕喜先生

楽毅(がくき) 宮城谷 昌光



## 須藤 佑樹先生

『手紙』

作 東野圭吾



# 安住 哲夫先生

「風が強く吹いている」 作 三浦しをん





これまでに出会った多くの本から、物事の考え方や自分の生き方に大き な影響を受けてきたように思う。今から25年ほど前、道を尋ねられた初対 面の方に、僅か五分後には「宮城谷昌光の『太公望』を是非に」と勧められ ていた。その不思議な縁から、宮城谷昌光の古代中国の歴史小説に引き込 まれていった。「太公望」「孟賞君」「墨子」「重耳」「管仲」「奇貨居く べし」「香乱記」「三国志」・・そして「楽毅」。本は読む時期(年齢)に より、興味や関心、うける影響の度合いも異なるものである。「人が見事に 生きるとは難しいものだな」宮城谷作品の多くに、主人公のこのつぶやきが ある。「見事に生きる」とはどういうことだろう。「楽毅」は中国春秋戦国 時代に生き、あの諸葛亮孔明をして軍略の天才と言わしめた名将・楽毅の生 💇 涯を描いた大作である。燕の院の「まず隗より始めよ」の格言も楽毅を得る ▶ ためものだった。他の作品も何度か読み返し、「楽毅」は3度読み返した。 興味を持った方、時間的に余裕のできた方、どうぞ「見事な生き方」探

し、してみませんか。

本の題名 『手紙』 作者 東野圭吾

<本の紹介>

強盗殺人の罪で服役中の兄、剛志。その兄から月に一度、弟の直貴 のもとへ手紙が届く。しかし、この手紙によって、直貴は、進学や恋 愛、就職といった幸せを掴もうとするたびに、「強盗殺人犯の弟」と いう現実に直面することになる。

「ガリレオ」シリーズで有名な、東野圭吾の作品です。中学生のこ ろ、兄の本棚から持ち出して読んだこの本からは、家族の絆とは、犯 罪加害者の家族の人生とは等、様々なことを考えさせられました。

来年には、ミュージカルとしても上映されるこの作品、少々重い内 容ですが、一度は読んでみることをおすすめします。



「風が強く吹いている」

作者 三浦しをん

箱根駅伝を題材にした内容です。

走るってどういうことなんだ?10人の個性溢れ るメンバーが長距離を走ること(生きること)に夢 中で突き進む。自分の限界に挑戦し、ゴールを目 指して襷を繋ぐことで仲間と繋がっていく… 私が気になっている本です。